

# 松波むかし語り ここに住み続けて

その 44

今回のお客様

バイシクル セオのあるじ  
せ お けんいち  
**瀬尾 謙一**さん 40歳 1丁目

“自転車は健康につながりますし、世代を超えて楽しめます。この機会に走ってみませんか”



昨年 10 月、千葉商高前の信号のところ、北島綿ふとん店の向かいに、色とりどりの自転車を店先に並べたお店が店開きしました。しかしこの「バイシクル セオ」には、定番のママチャリは見当たりません。安いものでも 6 万円台ほど、高いものは 100 万円を超えるイタリア製まで、すべて細身のタイヤのスポーツバイクと呼ばれる高級自転車ばかりです。

「普通の自転車はスーパーで大量に売る時代ですし、思い切ってスポーツバイクに絞ってみました。自転車は昔からある乗り物ですが、いまは健康志向や環境志向が追い風となってスポーツ車人口は広がっています。40 代、50 代になって少し遠出を楽しみたいという人たちも増えてますし、千葉大の中に 100 名を超えるサイクリング部があるように若い方にも人気です。用途に合わせて 2 台、3 台と買い求められる方も多いです。素材も、昔の重い鉄からアルミへ、そして振動吸収力のすぐれたカーボンへと変わってきました」。

瀬尾さんは、東高の近くにあるセオサイクルの息子さんです。「小さい頃から自転車の中で育って、父の仕事を引き継いだというより、自転車は修理などを通じて人とのふれあいがあるでしょう。それが楽しいから自然にこの道に入っていました」。70 を超えたお父さんは、今も轟のこのお店でニコニコと仕事を続けておられます。そういえば、私もよくバンクなどではお世話になりました。「もともとスポーツバイクを手掛けたのは伯父で、千葉県の草分け的な人なんです、それもあって千葉県サイクリング協会は北海道に次ぐ全国 2 番目に会員が多いです」。知りませんでしたね。インターネットで「セオサイクル」をみると、関東を中心に 120 軒ものお店があることがわかります。

「自転車は、ひざの横の筋力を高めますから、年取って起こる腰痛やふらつきなどを防ぐ効用があるんです。『乗ってみたいけれど不安だ』とむずかしく思っておられる方もあるでしょうが、体を動かすつもりで乗ってみてはどうでしょう。まずはいまお持ちの自転車ですらとゆっくりと町内を一周してみるとか、公園の写真を撮ってくるとか。20～30 分走れば

健康にもつながります。それで、もう少し距離を延ばしてみたいと思ったら、スポーツタイプも考えていただく。そんな提案をしているんです」。見て見るとバイシクル セオにはちょっとしたテラスが設けられていて、一回りしてきたら休めるようになっています。土曜日には 20 名ほどの愛好者が集まってきて、ここをサイクリングの拠点にしている人たちに出会うことができます。「集団で走ると楽なんです」と瀬尾さん。9 月 29 日には競輪場を借りて、バンクを走ったりできるサイクルフェスティバルの準備も始まっています。「自転車文化を高めたい」という瀬尾さん、いつか町会でも、自転車の効用と乗り方についてぜひしゃべっていただきましょう。



瀬尾さん愛用のイタリア車